

New Creation Church in Kyoto since 1997

Miracles



2021年5月23日号 No.1259

ペンテコステの日

牧師 今井直喜

本日は、キリスト教の暦でペンテコステの日。ペンテコステというのはユダヤ教の五旬祭というお祭りのことを指しています。使徒言行録という新約聖書におさめられている文書によれば、この祭りの日に、弟子たちが集まって祈っていると、突然激しい風が吹いてくるような音が響き、炎のような舌が祈っている人一人に上にとどまったということです。すると、一同は聖霊に満たされて、他国の言葉を語りだしました。これは、イエス・キリストが昇天前に語られていた聖霊が降臨したことを示しています。キリスト教界では、聖霊が下った日として、また教会が誕生した日としてお祝いしています。

神の霊である聖霊が私たちに与えられることの何がめでたいのでしょうか。まず、聖霊が私たちのうちに与えられることによって、神様とのつながりが回復します。親子関係を結ばせてくださるのです。どこかの場所にいかなければ会えなかったり、例えば教祖のような仲介者をなければ、言葉をいただけないということはありません。どこにいようとどんな

状況であろうと、神様と直接つながっているのです。私たちが呼びかければ、天の父なる神様はちゃんと応えてくださるのです。365日24時間大丈夫です。

ローマ8:16 この霊こそは、わたしたちが神の子供であることを、わたしたちの霊と一緒に証してくださいます。

さらに、この聖霊が私たちのうちにあることによって、日々成長していくことができるのです。どんなふうにでしょうか。父なる神さまとの交わりをしていく中で、自分が神の子である自覚が深まっていきます。その中で、私たちは神の子としてどのように生きていくのかを理解していくのです。聖霊による交わりによって自分の努力やがんばりだけでなく、聖霊によって成長成熟していくのです。それは本来の自分になっていく。神が創造された神の像を形作っていくのです。つまり、キリスト者として生きていくということは、どんどん自分らしくなっていくということなのです。

聖霊の交わりを与えられていることを感謝して歩んで参りましょう。

Ⅱコリント3:18 わたしたちは皆、顔の覆いを除かれて、鏡のように主の栄光を映し出しながら、栄光から栄光へと、主と同じ姿に造りかえられていきます。これは主の霊の働きによることです。

2021年5月23日(日) 聖日礼拝 11時00分

主題『喜ぶ人Ⅱ』

説教者：今井直喜

聖書箇所 詩編 118:22-25

118:22 家を建てる者の退けた石が／隅の親石となった。

118:23 これは主の御業／わたしたちの目には驚くべきこと。

118:24 今日こそ主の御業の日。今日を喜び祝い、喜び躍ろう。

118:25 どうか主よ、わたしたちに救いを。どうか主よ、わたしたちに栄えを。

《現在の自分を喜ぶ》

使い物にならないと判断された石だが、「隅の親石」として用いられる。それが、神様の御業であり、驚くべきことだという。このような御業がおこなわれているこの日を喜ぼうと詩編記者は歌う。

Cf) 詩編 118:22 家を建てる者の退けた石が／隅の親石となった。

使徒 4:11 この方こそ、／『あなたがた家を建てる者に捨てられたが、／隅の親石となった石』／です。

《過去の自分を喜ぶ》

人にはいろいろな過去があり、辛いことや悲しいことも起こる。単純に喜ぶことばかりではない。しかし、そのような過去があったからこそ、今があるのである。さらに、喜ばない過去にも神の御手がちゃんとあったのである。

Cf) 詩編 103:2 わたしの魂よ、主をたたえよ。主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない。

エレミヤ 1:5 「わたしはあなたを母の胎内に造る前から／あなたを知っていた。母の胎から生まれる前に／わたしはあなたを聖別し／諸国民の預言者として立てた。」

《未来の自分を喜ぶ》

キリスト者として生きると、自分の将来に対して、不安や恐れではなく、希望や期待を持って生きることができる。今置かれている状況がどのようなものであったとしても、その未来は祝福にあふれるものになる。

Cf) エレミヤ 29:11 わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。

ローマ 12:12 希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。

(メッセージ・ポイント)

1. 隅の()とされていることをおぼえよう。

Cf) 詩編 118:22 家を建てる者の退けた石が／隅の親石となった。

2. () と信じて取り組もう。

Cf) Iコリント 10:13 あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。

フィリピ 4:13 わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。

【ビルマ訪問記】

藤林 コト

主のお許しがなければ何事も起こらない。人間の回りに色々な事柄が起こる現実を如何に受け止めるべきか？

世界的なパンデミックと言われる目下のコロナウイルスとその感染拡大、国と国との睨み合い、国々の内乱等々。勿論一番身近な家庭という社会で起こる諸問題。どれをとりましても人間として与えられている命の尊厳を無視した結果を招いてしまっているのではないのでしょうか。

「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい」イエス様のみ思いを素直に受け止める方々の爆発的増加を願い、与えられている福音宣教の働きを担って参りたいと思います。

最近の内乱の一つ、ミャンマーの出来事です。実は当時ビルマと呼ばれていた時代、1982年1月6日から約一週間主人藤林邦夫のカバン持ちでバンコック経由ビルマへの伝道旅行に遣わされた折りの旅行記を思い出し掲載してみました。ここに悲しい現実が癒され、平和な日々回復をお祈り下さい。

「サワディ・カ」タイ国の挨拶後である。手を鼻の辺りに合わせ挨拶をする。東南アジアは、日本も含めて顔から判断すると一民族のようであるが話言葉によって相違点を見る。「こんにちは」と話しかけると全くわからない言葉が返ってきて、思わず赤面。

四年ぶりにタイのドンムアン空港に到着。冬装束を風呂敷包みにて一荷物増える。バンコクで一泊。ホテルに勤務していらっしゃる日本女性の大泉さんにお会いする。バンコクの状況や日本の青少年問題に花が咲く。とても親切にして下さった。

「いよいよビルマに向う。」暑いですね!!”と真っ黒に日焼けした日本の方に話しかける。”われわれはもっと暑い所にいるんです” ”どちらですか” ”ビルマですよ” わっ!!これ以上暑いのかと驚く。

飛行機の運行は一日一便。バンコクよりたった一時間の飛行であるが、不便といえば不便。日本からは遠い国である。ラングーン市ミンガラドン空港へ無事到着。始めは列縦隊であったが入国手続きは、黒山の人をかけ分けて済ませる。汗だくだく。もう殆どの人が終わっている。おかげで、係の方と親しく顔を覚え合うことになった。親しみやすい方々だと良い第一印象を受けた。出迎えて下さったボーヤ師と一年ぶりの再会を感謝する。 続く

(福音タイムス 1982年2月1日発行)

★今週の予定

20日(木) BLD 祈禱会 19:30- アバハウス 久保内宣世師

★礼拝のご案内

日曜日 教会学校・New Creation Seminar 9:15-;30- アバハウス
聖日礼拝 11:00- アバハウス
手話礼拝 11:00- アバハウス (第三週目の聖日礼拝)
支援礼拝 13:30- アバハウス
木曜祈禱会 19:30- アバハウス

★5月の予定

23日(日) 聖日礼拝 11:00- アバハウス 今井直喜師
27日(木) BLD 祈禱会 19:30- アバハウス 久保内宣世師
30日(日) 聖日礼拝 11:00- アバハウス 今井久美子師

★6月の予定

3日(木) BLD 祈禱会 19:30- アバハウス 今井廣史兄
6日(日) 聖日礼拝 11:00- アバハウス
2021年度 第1回KCC信徒総会 12:30- アバハウス ※Zoom 配信有
欠席される方は、委任状をご提出下さい。
10日(木) BLD 祈禱会 19:30- アバハウス 宋 志雄師
13日(日) 聖日礼拝 11:00- アバハウス
17日(木) BLD 祈禱会 19:30- アバハウス 吉田義則師
20日(日) 聖日礼拝 11:00- アバハウス 父の日祝福祈禱 加瀬宣雄師

◆2021年5月20日のBLD 祈禱会出席者数 《合計19名》

◆2021年5月16日(日)の礼拝出席者数 《合計56名》

CS…5名 礼拝(アバ)…7名 礼拝(Zoom)…35名 支援…9名

京都中央チャペル (αββα - HOUSE)

〒604-0845 京都市中京区烏丸御池上る二条殿町 540

Tel: 075-229-3058 Fax: 075-229-3059

<http://www.chuochapel.com>

郵便振替 01090-3-52922 名義: 京都中央チャペル